

五月雨をあつめて早し最上川
(写真コンクール作品から)

7月10日迄募集を延長

全国教職員対象の夏季教職員研修旅行（助全国修学旅行研究会・教育修企画主催）は、全国で活発な募集活動が行われ、「今年の夏も研修旅行でみあります」と参加を呼びかけている。

助全国修学旅行研究会（山本一理事長）の全国教職員研修旅行は、昭和三十二年の第一回北海道見学団（参加人員・四千六百名）の実施以来、本年で二十八回を迎える。研修旅行は、①教育専門職としての資質の向上②修学旅行・校外学習等における集団指導力の体得③教職員の全国的な交

友・交流・相互研鑽④教職員の余暇時間の活用⑤教職員の元気回復による教育界の活性化⑥高齢化社会を迎える教育者としての生涯学習」を目標に、その研修内容の企画・運営を行い、全世界恒例の行事として定着している。休業中の旅行といえども、その休みは「自己研修」として研修に力を入れる絶好の機会である。

いうまでもなく「研修」は研究と「修養」を併せたもので、教育公務員特例法第19条に「教育公務員は、その職責を遂行するため絶えず研究と修養に努めなければならぬ」また第20条に「教員は研修を受ける機会が与えられなければならない」

ある。夏休みはこうした自己研修に力を入れる絶好の機会である。夏休みはこうした自己研修に力を入れる絶好の機会である。

ス。雄大な自然の中における北

方の生活、文化、産業、教育事

情等を研修する北海道各コース

（一周デラックス、一周ハイラ

ー、利尻・礼文・大・シャン

岬）をはじめ、みなみの風土、

伝統産業、伝統行事を訪ねる東

京）をはじめ、みなみの風土、

伝統産業、伝統行事を訪ねる東

</div

新しい修学旅行

松戸六実高の歩み

(9)

を模索して

一、これまでの経過
新学期に入り、実際の修学旅行の話が二学年の学年会で議題となつたのは、五月に入つてからであった。四月末に学年でバス遠足を実施した関係で、そちらの準備に追われ、四月中旬にはとんど修学旅行の準備はできなかつた。ただバス遠足は、かなり修学旅行を意識したものと計画した。東京駅集合で鎌倉方面へクラス別に行く計画であつた。まず鎌倉を選んだ理由は、修学旅行で関西の古都京都へ行くので、一日バス遠足では関東の古都鎌倉へ行こうといふことになつた。また東京駅に集合したのは、実際の修学旅行と同じ時刻に集合し、実際の修学旅行

つかあげられた問題点・反省点が、秋の修学旅行での指導上の留意点となり、その面ではない結果が得られたと思つ。

五月に入り、学年会で修学旅行の実際のプランの検討に入つた。その中で、二日間のグループ別行動を実施するには、事前の打合わせ・連絡等の不備、不十分な指摘され、また後述のである。

実際のバス遠足では、集合時刻に遅れ、四月中にはなかなか修学旅行を意識したものと計画した。東京駅集合で鎌倉方面へクラス別に行く計画であつた。まず鎌倉を選んだ理由は、修学旅行で関西の古都京都へ行くので、一日バス遠足では関東の古都鎌倉へ行こうといふことになつた。また東京駅に集合したのは、実際の修学旅行と同じ時刻に集合し、実際の修学旅行

生徒と職員の意識

— グループ別を一日間に —

千葉県立松戸高等学校 百瀬明宏

刻に遅れてくる生徒が多数いたり、鎌倉出発の時刻が遅れたり、さらにはバスが途中故障で動かなくななるというアクシデントが重なり、満足な成果は得られないといった。そこで、改めてバス遠足の検討にもかなり大きな変化があつた。

ただ、今回のバス遠足でいく加えられることとなつた。

り、生徒指導の重要さをも表したものと思うと分析している。

この部門は、都市別生徒数を調査してあるので、県内諸学校では、どこに好参考となるものと思われる。

もう一つは、新しいクラスに達である。この生徒達には、各グループ担当教員が説得にあつたために、ある程度自分たちの行動を制限せざるを得なくなつたのである。ところが実際に

一日しかグループ別行動をないため、ある程度自分たちの行動を制限せざるを得なくなつた。

もう一つは、新しいクラスに達は、グループ別行動が一日に

なり、できればクラス別行動をやついた職員と、新しく担任

一年から二年に進級するにあつて、学年構成職員が変動するため、一年時でクラス担任を

も京都三連泊ということに決まり、少なからず不満を抱く生徒がいる。これらは、クラス別行動をやついた職員と、新しく担任

が最大かつ重要な問題である。

生徒の意識をかえる以前の問題として、職員の意識改革の方

が最大かつ重要な問題である。